

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立聴覚障害者情報センター	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市北新1-2-12	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人 山梨県社会福祉事業団、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立聴覚障害者情報センター設置及び管理条例		
設置目的	聴覚障害者の情報不足を補うとともに、コミュニケーションの場を確保して、福祉向上を図る。		
主な施設内容 (定員等)	・事務室、会議室、試写室、試写コーナー、相談室、スタジオ制作室、印刷室、パソコン室(延べ面積579㎡)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 聴覚障害者用の録画物の制作及び貸出しに関する業務 聴覚障害者に関する相談業務 手話通訳及び要約筆記を行う者の養成に係る講座の実施並びにその者の派遣に関する業務 その他、知事が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	なし
---------------------	----

3 利用状況

単位: 人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	手話通訳者派遣	1,805	1,919	2,027	/
	要約筆記奉仕員派遣	307	238	269	/
	ビデオ(DVD)貸出し	96	58	76	/
	相談	127	154	130	/
	中継	60	60	106	/
	会議室利用	12,984	9,496	10,235	/
	見学者等	265	282	192	/
	利用者数合計	15,644	12,207	13,035	/
	目標値				/
	目標値設定の考え方				/
対23年度比	100.0%	78.0%	83.3%	/	
稼働率				/	

4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	33,858,000	34,048,000	34,048,000	34,124,000
	その他	6,071,705	5,317,000	6,235,565	5,979,000
	収入合計(A)	39,929,705	39,365,000	40,283,565	40,103,000
支出	人件費	22,979,883	23,028,000	24,251,984	21,851,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	16,252,511	16,337,000	15,385,887	18,252,000
	(うち外部委託費)(B)	1,048,986	1,034,000	1,065,191	1,034,000
	支出合計(C)	39,232,394	39,365,000	39,637,871	40,103,000
収支差額(A - C)		697,311	0	645,694	0
外部委託比率(B ÷ C)		2.7%	2.6%	2.7%	2.6%
利用者一人当りの経費		2,774	2,612	2,612	-

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成25年10月1日～31日 実施方法:聴覚障害者情報センター利用者へのアンケート 回答数:92人
-------	--

単位: %

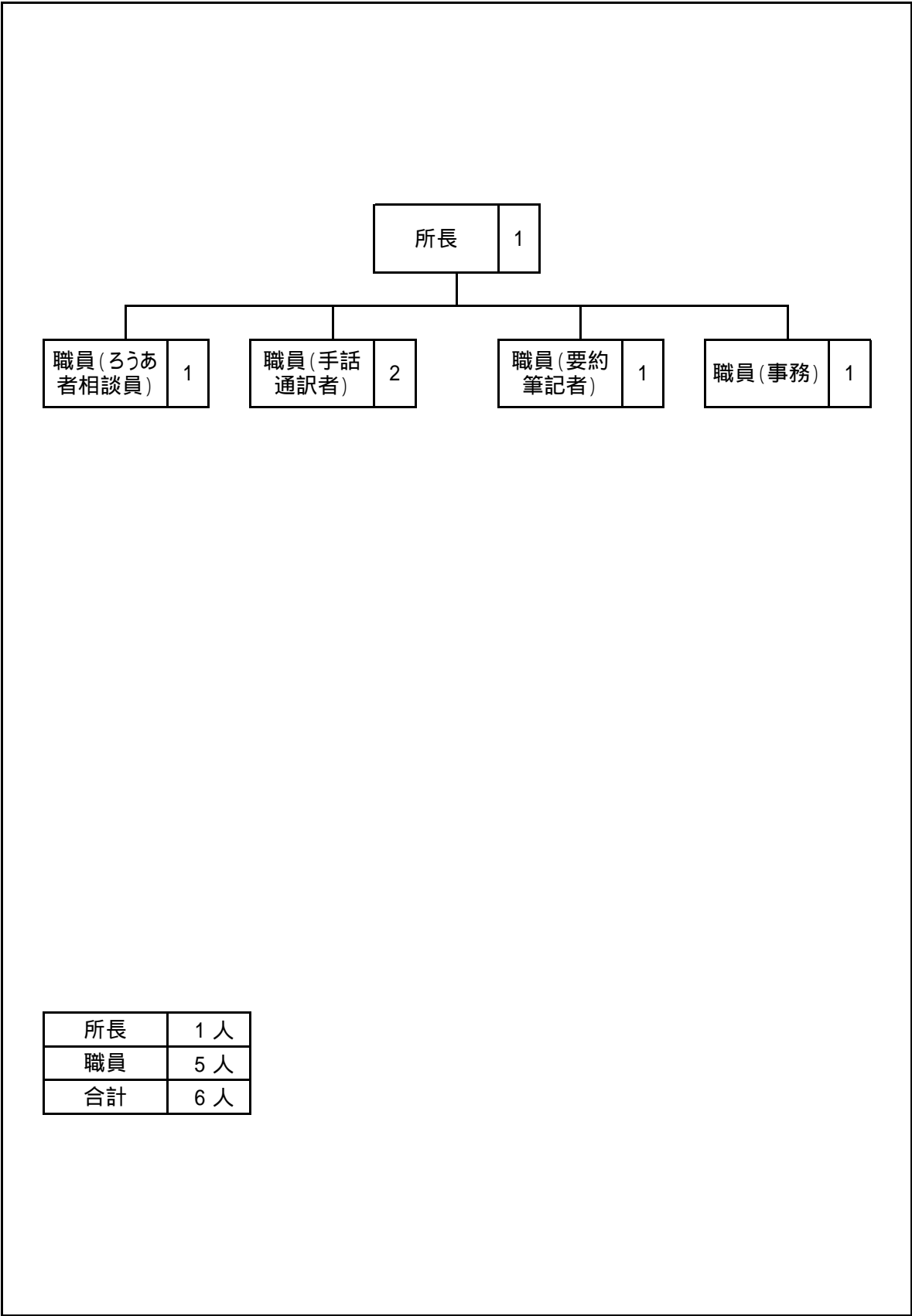
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
職員対応	74.3%	23.0%	2.7%	0.0%
手話通訳派遣事業	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
要約筆記派遣事業	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%
ビデオライブラリー事業	53.9%	46.1%	0.0%	0.0%
相談事業	76.9%	23.1%	0.0%	0.0%
ろうあ者成人学級事業	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%
その他(就労支援事業)	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
各項目の平均	68.6%	31.0%	0.4%	0.0%

利用者の意見	私の職場(病院)に聴覚障害者が通訳者と来ます。医師を含めて、みんな助かると言っています。(手話通訳者派遣事業) ありがたく、いつも感謝しています。事業を継続していただきたい。(要約筆記者・奉仕員派遣事業) 幅広く講座が開かれているように思います。(ろうあ者成人学級事業) 今後も利用します。(就労支援事業) 聴覚障害者の一員として、情報センターの存在は、とても心強く、安心感が持てます。
利用者の意見への対応	手話通訳者や要約筆記者等の派遣事業については、それぞれの専門性を高めるための研修会を開催するとともに、増員を図るべく養成講座を開催していきます。 ろうあ成人学級については、関係団体と連携を図る中で、より多くの方に参加して頂けるような内容としていきます。 日常生活に関する相談や就労支援については、専門の知識と経験を備えた相談員、就労支援ワーカーが対応していきます。 今後も、障害をお持ちの方々をはじめ、利用者の皆様から信頼される情報センターを目指していきます。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	事業計画に基づき、日常的な清掃及び整理整頓を行うとともに、ビデオ制作機器等の備品については、備品を取り替えるなど、安全な保管、整備点検を行った。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されていた。
運営業務	計画通り事業を実施するとともに、県聴覚障害者協会等関係団体と連携を図る中でニーズの掘り起こしを行い、聴覚障害者福祉の向上に努めた。	事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されていた。 引き続き利用者のニーズ把握に努め、聴覚障害者の福祉の向上に努めること。
自主事業		
利用状況	アンケート調査の結果は、良い評価であり、引き続き適正な運営を行っていく。	概ね、計画どおり適正な管理運営がなされていた。
収支状況	予算の効率的な執行に配慮し、健全経営に努めている。	適正な管理運営がされていた。 引き続き、良好な財務状況を維持するよう努めること。
利用者満足度	満足度調査では、満足との結果が出たが、今後も利用者及び関係団体の声を聞き、サービスの向上に努めていく。	アンケート調査から、利用者の満足度が高いことが分かる。引き続き、県内唯一の情報提供施設としてニーズの掘り起こしを行うことが必要である。また、利用者の意見を課題とし、各事業に反映させるように指導した。
運営目標の達成状況	相談件数、見学者の受入れ数は、前年度実績を下回るものの、手話通訳者の派遣、要約筆記奉仕員の派遣、ビデオ(DVD)の貸し出し、会議室の利用者数は、前年度実績を上回っている。また、「やまなし障害者プラン2012」に定めた目標である各年度、手話通訳者4名、要約筆記者5名の養成については、それぞれ、実績は0名、7名となっている。前年度実績や計画を下回るものばかりでなく、上回るものもあるため、総合的に、運営目標については、概ね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	現地確認を行ったところ、概ね業務は適正に実施されている。 手話通訳者の養成等については、より一層講座内容を工夫する中で、「やまなし障害者プラン2012」の数値目標の達成に向けて取り組むこと。 利用者満足度調査の結果や、これまでの運営業務の分析を基に、引き続き聴覚障害者の福祉の向上に向け適正な運営管理に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	手話通訳者の養成については、「やまなし障害者プラン2012」の数値目標の達成に向け、特別コースを実施している。 県内聴覚障害者関係団体と連携し、センター運営にあたっていく。	

7 管理体制(組織図)



所長	1人
職員	5人
合計	6人